

## 美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
地域による避難所運営検討支援事業【美原区区民評議会関連事業】		美原区役所企画総務課			
事業目的	事業効果	活動指標	H27	H28	H29
美原区における小学校区ごとの防災対策の進捗状況や今後の課題について、地域住民と区、区と市が相互に継続的に共通認識をもち、また、校区自主防災組織を中核とする自助・共助・公助のバランスが取れた円滑な校区避難所運営を実現するとともに、校区単位の地域のつながりを強化する。	避難所運営上の諸問題や課題などを見出し、行政と地域が一体となり、避難所を運営することの重要性を再確認するとともに、課題解決に向けた体制づくりを推進することができる。また、校区を単位に地域の住民や事業所同士の顔の見える関係を構築するきっかけとなり、地域における自助、共助を推進することができる。	ワークショップ参加者数(人)	/	201	762
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○	美原区区民評議会の平成27年答申に基づく事業である。	○	住民が主体となる避難所運営ワークショップや訓練を通じて、地域の実情に合わせた避難所運営マニュアルと防災カルテの見直しを行った。	○	校区独自の避難所運営マニュアルと防災カルテは、地域初の取組である。
○	業務委託をすることで、ワークショップや訓練をスムーズに行い、短時間で効率良く各校区の避難所運営マニュアルと防災カルテを見直すことができた。	○	本事業の経験を参考に、校区自身で避難所運営マニュアルと防災カルテのアップデートをしていく予定である。	○	
⑤自立発展性	総合評価				
○	指定避難所の開設、運用における地域の連携、協働のあり方について、自主防災組織や地域の団体、事業所など関係者による訓練やワークショップを行うことにより、校区の現状や課題の分析と整理を行い、校区の実情に応じた避難所運営マニュアルの見直しをすることができた。また、住民相互の面識が得られたと同時に、災害時だけでなく普段から校区住民の顔の見える関係や校区内の情報の共有が大切だとの気付きが得られ、校区を単位とする地域のつながりの重要性について共通認識を深めることができた。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
○	本事業は1校区に対して3か年支援する予定である。今年度参加した2校区(平成30年度が3年目)への支援を継続するとともに、更に他校区へも広げていく。				
○	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">                     拡充 継続 見直し 廃止                 </div>				